

第 192 号議案

令和 7 年度長崎市一般会計補正予算（第 4 号）

目 次	資 料 ページ	予算説明書 ページ
4 款 1 項 9 目 環境対策費		
<<繰越明許費補正>>		
・【補助】脱炭素先行地域づくり事業費補助金 東山手・南山手地区等	2 ～ 6	28 ～ 29

環 境 部
令和 7 年 11 月

予算説明書【繰越明許費補正】				事業名	繰越明許額
ページ	款	項	目		
28 ～ 29	4 衛生費	1 保健衛生費	9 環境対策費	【補助】脱炭素先行地域づくり 事業費補助金 東山手・南山手地区等	千円 130,100

1 事業概要

令和6年度からの5年間に於いて、世界的にも珍しい近接した2つの世界文化遺産を有する「東山手・南山手エリア」及び世界新三大夜景である稲佐山から見下ろす長崎夜景ランドマーク施設群の脱炭素化を図り、併せて「歴史文化」×「夜景観光」×「脱炭素」を融合させることにより、長崎市版サステナブルツーリズムを世界に発信することで、「選ばれる国際観光都市“長崎”」の実現を目指すもの。

令和7年度においては、高効率照明・空調機器改修及び太陽光発電設備設置工事を実施する民間事業者に対し補助金を交付し、対象地域における脱炭素化を進めるもの。

2 繰越事由

補助事業者が行う事業が年度内に完了しない見込みであるため。

3 令和7年度当初予算支出予定額

(単位:千円)

対象者	対象事業	予算現額	支出予定額	繰越明許額
対象民間施設の所有者	高効率照明・空調機器改修	82,000	25,000	57,000
(株)ながさきサステナエナジー	太陽光発電設備設置工事	73,100	0	73,100
	計	155,100	25,000	130,100

4 財源内訳

	①対象 事業費	②金額 (補助額)	財 源 内 訳					申請者 負担額 ①－②
			国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源	
予算現額	千円 232,650	千円 155,100	千円 155,100	千円 －	千円 －	千円 －	千円 －	千円 77,550
支出予定額	37,500	25,000	25,000	－	－	－	－	12,500
繰越明許額	195,150	130,100	130,100	－	－	－	－	65,050

※ 地域脱炭素移行・再エネ推進交付金 (補助率 対象事業費の2/3)

5 スケジュール(予定)

		令和 7 年度				令和 8 年度			
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
高効率照明・ 空調機器改修 太陽光発電設備 設置工事	当初	申請・事業実施・補助金交付							
	変更後	申請・事業実施・補助金交付							

6 参考資料(長崎市の提案概要)

長崎市：「歴史文化」×「夜景観光」×「脱炭素」が融合した長崎市版サステナブルツーリズムの世界発信



脱炭素先行地域の対象：東山手・南山手地区及び稲佐山から見下ろす市街地中心エリアの夜景観光ランドマーク施設群

主なエネルギー需要家：住宅553世帯、業務その他施設152施設、公共施設44施設その他街路灯等

共同提案者：長崎居留地歴史まちづくり協議会、株式会社ながさきサステナエナジー、一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会、学校法人長崎総合科学大学、株式会社ゼンリン、NTTアーバンソリューションズ株式会社

取組の全体像

世界文化遺産を含む国選定重要伝統的建造物群保存地区である東山手・南山手地区において、歴史的な特徴・景観の保全に配慮して、徹底的な省エネ改修(LED照明、空調設備)と街路灯のLED化を実施。オフサイト電源として最終処分場や遊休地に太陽光発電や廃棄物発電を導入し、再エネメニューとして地域新電力会社が供給。世界新三大夜景である稲佐山から見下ろすライトアップ施設群も脱炭素化を図り、「歴史文化」×「夜景観光」×「脱炭素」を融合させた「長崎市版サステナブルツーリズム」として「持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)」の認証取得を目指し、選ばれる観光都市を世界に発信。

1. 民生部門電力の脱炭素化に関する主な取組

- ① 歴史的建造物が多く、景観維持に伴う制約がある国選定重要伝統的建造物群保存地区等において、戸建住宅(553戸)、民間施設(152施設)、公共施設(44施設)にLED照明・高効率空調等を導入して、徹底的な省エネに取組むとともに再エネメニューにより再エネ電力を供給
- ② 最終処分場等に太陽光発電(4,200kW)及び廃棄物発電(3,800kW)を導入し、地域新電力「ながさきサステナエナジー」がエリア内需要家に再エネ電力を供給
- ③ 長崎夜景のランドマーク施設群(観光・ライトアップ施設84施設、街路灯等)にLED照明、高効率空調を導入及び再エネ電力を供給



国選定重要伝統的建造物群保存地区



2. 民生部門電力以外の脱炭素化に関する主な取組

- ① 循環バス(2台)と公用車(50台)のEV化、充電器の整備と公用車カーシェアリングを導入するとともに、「地域MaaSアプリ」を活用し、住民や来訪者の環境活動への意識付けによる公共交通への移行を促す
- ② 廃棄物処理施設(東工場)の排熱は、隣接する長崎東公園コミュニティプールとコミュニティ体育館の温浴施設への温水及び両施設の空調に利用

3. 取組により期待される主な効果

- ① ライトアップ施設の脱炭素化と宿泊施設等の外観改修等による夜景の磨き上げにより、宿泊滞在の促進を図り、観光客一人当たりの消費単価を向上させ、地域に還元
- ② 長崎総合科学大学を中心に市内5大学と連携した修学旅行プログラムを実施し、学校や家庭を通じて全国に脱炭素の取組を波及
- ③ 「長崎居留地歴史まちづくり協議会」と3つの連合自治会など地域コミュニティ組織と連携して、規制がかかる世界文化遺産、歴史的建造物への省エネ設備導入を推進するモデルを確立

4. 主な取組のスケジュール

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
	歴史的建造物の現存する地域における省エネ化				
		歴史的建造物の現存する地域への再エネ供給			
		長崎夜景を形成する施設の省エネ化			
		地域新電力と連携した太陽光発電設備導入			
		エネルギーマネジメントシステム導入			
			EVバス導入		
			EV導入		
			地域ポイント導入・地域MaaS導入		

6 参考資料(全体予定スケジュール)

	No	項目	R6	R7	R8	R9	R10
民間施設	1	住宅の省エネ			改修補助		
	2	住宅への太陽光設置			設置補助		
	3	民間施設の省エネ	改修補助				
	4	太陽光発電設備構築	設置補助				
	5	EVバス導入				EVバス導入	
	6	住宅・民間施設でのデマンドレスポンス※1			エネルギーマネジメントシステム構築		
	7	住宅・民間施設の再エネ切替			再エネ切替		
公共施設	8	公共施設の省エネ	改修				
	9	照明灯LED化(県所有)		改修			
	10	公共EV導入				EV導入	
	11	公共施設の再エネ切替			再エネ切替		
	12	環境教育	修学旅行プログラム・環境教育				
	13	行動変容	MaaSアプリ導入※2				

※1 電力の需要側(民間施設・住宅等)が節電するなどをして、供給量との電力バランスをとる取組み

※2 MaaSとはMobility as a Serviceの略で、複数の公共交通等のサービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済などを一括で行うサービス